

第 6 5 回  
東北地方交通審議会  
船員部会議事要録

平成 2 6 年 3 月 2 4 日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会

## 第65回船員部会

日 時 平成26年3月24日（月） 15：30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 長谷部部会長、村上部会長代理（欠席）、清水委員、筋内委員

労働者委員 : 高橋委員、正路委員（欠席）、野田委員

使用者委員 : 鶴本委員（欠席）、佐藤委員、湯村委員

運輸局 : 本田海事振興部長、阿部海事振興部次長  
遠藤海上安全環境部船員労働環境・海技資格課長  
鈴木海事振興部船員労政課長  
淀川労政係長

議 題 (1) 管内の雇用等の状況について

(2) その他

### 配付資料

- 資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料（平成26年1月分）
- 資料2 新規求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料3 有効求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料4 新規求人・求職数（全国）
- 資料5 有効求人・求職数（全国）
- 資料6 有効求人倍率（東北管内）
- 資料7 有効求人倍率（全国）
- 資料8 平成26年度東北地方交通審議会船員部会開催予定日
- 資料9 新聞情報

## 議 事 概 要

### ◎開 会

【阿部海事振興部次長】

〔第65回船員部会の成立について報告〕

〔配付資料確認〕

### ◎議 事

(1) 管内の雇用状況等について

〔船員労政課長より資料1から資料7に基づき報告〕

【長谷部部会長】

ただいまの説明、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

【高橋労働者委員】

資料1の3ページの求人の漁船の部分で、その他13件、先月より9件増えているんですが、この内容というのは分かりますでしょうか。

【鈴木船員労政課長】

求人その他13件については、練習船2件、漁業取締船5件、漁業調査船4件、カニ籠船2件で合計13件となっています。

【長谷部部会長】

よろしいですか。

【高橋労働者委員】

はい、ありがとうございます。

【長谷部部会長】

それに関して何かコメントとかありますか。他にいかがでしょうか。

【野田労働者委員】

資料5ですが、有効求人・求職（全国）で、平成25年7月頃から求人、商船等がぐっと増えていますが、要員とか、増えている原因は。

【鈴木船員労政課長】

中身までは把握できていませんけども、数字的にいうとやはり西の方、関東より西の方の取扱件数が増加しているというようになっています。

【長谷部部会長】

湯村委員、何かありますか。

【湯村使用者委員】

前回もお話しましたが、非常に今、内航船の需要が高まってきているということで、忙しい運航を毎日続けているんです。あと新造船も確かに何隻か出てきていますが、そのための要員と考えるとちょっと多過ぎるんですね、人数的には。何隻かは新造されているんですけども、ただ忙しい状況の中で、今までは少ない予備員で何とかやりくりして陸上休暇を買い上げたりそういった方法で何とかしのいでい

た船主さんが、やっぱりずっとこの忙しい状況が続いているので、それではもう間に合わないということで採用に踏み切ったというふうなことかなと私は見ていました。

【長谷部部会長】

野田委員、いかがですか。

【野田労働者委員】

分かりました。

【長谷部部会長】

というように、一応の答えだと。

【湯村使用者委員】

当たっているかどうかは分かりません。私の想像です。

【清水公益委員】

補足で、業界の方からですと、やっぱりベビーブーマーが今65、6才ですよね。本当に60才過ぎてまだ働いている人たちが、そろそろ体力が衰えてきて、実質的な退職が始まっているんだと思います。

【長谷部部会長】

全体として供給が少ないという話になるんですね、それに対して。

【清水公益委員】

まあ国会議員さんなんかは、うちの方でまだ卒業で360~370人しか出していないところ、もう卒業生500人にしろとかと言われていまして、早々簡単にこっちも定員増やせないの。

【長谷部部会長】

ちょっと注意しながら見ていかなきゃいけない現象かもしれませんね。

他にございますでしょうか。ありませんでしたら、ご承認頂いたということで次に進めたいと思いますがよろしいですか。（「はい」の声あり）

ありがとうございます。

(2) その他

【長谷部部会長】

続きまして、皆さんからの情報提供等、よろしく願いいたします。

労働者委員の方からお願いします。

【高橋労働者委員】

それでは、私から、労働協約改定についてですが、内航2団体が3月1日に第1回目の交渉を行いまして、この時点で有効期間の仮合意をしております。

船主団体からは、改定の申し入れ内容はありませんでした。組合からは、先月報告した内容で要求書を出しています。今日が第4回目の交渉、多分もうすぐ始まると思います。3回目は3月18日に行いまして、この時点では基本給、退職年齢と公的年齢、開始年齢の整合について、あと退職手当の頭打ちの撤廃については合意に至らず、鋭意交渉中という内容です。

全内航ですが、こちらは船主団体から申し入れがありまして、有効期間ともう一つが賃金なんですけども、下船中の賃金として特別休暇員のところに船長特別手当

というのがあります。これを削除する要求です。第1回目が3月3日、このときに有効期間は仮合意しております。

第2回目が3月10日に行いまして、この時点で船主申し入れ、船主側が取り下げを行っております。第3回目が3月18日に行いまして、内航2団体同様基本給の改善、退職年齢と公的年齢の開始年齢の整合、あと家族手当とMO船機関部手当、MO船慰労金については鋭意交渉中という内容です。第4回目が3月25日開催予定です。

あともう一つ、大型カーフェリーですけども、こちらは第1回目が3月6日に行いまして、こちらも有効期間、仮合意しております。大型カーフェリーについては、昨年までは中央で個別に各社と交渉を行っていましたが、今年からは19社一つにまとまって団体交渉になっております。それで3月17日に第3回目を行いまして、こちらも基本給の改善、あと船内衛生手当の改善、船内設備についてですが、こちらの方はインターネット関係の要求になっています。こちらについても、3月6日の第1回目に有効期間を仮合意し、他の要求項目は鋭意交渉中です。次回4回目が3月26日の交渉の予定となっております。

大型カーフェリーの船主団体からは、申し入れがありまして、休日・休暇をいま年間120日ですけども、当分の間、117日にすることと、あと定員について、船舶の乗組員定員は、海上の人命、船舶の安全を期し、労働時間が守られ、かつ技術革新の進歩等による省力化、航路の実情、作業量を勘案して決定するものとするという要求内容が来ましたが、これも第2回の交渉、3月11日に船主の方は取り下げしております。

以上が中央の交渉内容です。

あと、地方においては、今鋭意交渉しております。以上です。

【長谷部部会長】

何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

大型カーフェリーの定員問題、船主団体から言われた最終的に取り下げられた要求というのは、定員規制緩和ですか。

【高橋労働者委員】

そうです。今言われたように、機械化も大分進んでいますので、その部分で、コストに係る部分で船主さんはそれを削除してほしい、幾らか見てほしいという内容だと思うんですけど。休みに関しても、やはり予備員、十分とっていないところもあるし、やはり燃油高騰の折、結構船主にしてみれば負担が大きいということで、休みを少し削り、人員の配置にしたいということだと思います。

【長谷部部会長】

政府の方からの要請なんかは、船主団体の方には影響はしているんですか。取り下げなども含めて。

【高橋労働者委員】

そういうものではないと思います。

【長谷部部会長】

慣例ですか。要求を出して取り下げるとするのは。

【高橋労働者委員】

いえ、やはり議論の中で これは難しいだろうなという船主側の考えだと思えます。どの団体も、乗組員不足というのがあります。若手の人たちも入ってこない。その中で賃金なり労働条件を変えることによって若手を採用しようという考えが元になっていると思えます。

【長谷部部会長】

交渉をするときに、先ほど清水委員が言われたような団塊の世代が退職していく補充がなかなかできない、こういう状況が船主側のいわばちょっと柔軟な姿勢に繋がっている。こういうことは労働側の方は認識している事実としてあるんですか。

【高橋労働者委員】

組合船は定年制を設けていますので、その後はまた引き続き継続した雇用というもの個別に会社と取り決めしているところもあります。やはり、それでも間に合わないというのが現実だと思えます。結局は、定年で退職してもまだ働きたいですから、そこで未組織の方に行ってしまうというような状況です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。他に何かご意見等ございますか。  
清水委員、お願いします。

【清水公益委員】

エンジンの方でも、今新6級の航海のようなことを考えたというようなことをちょっと聞いてはいるんですが、そういう進捗状況みたいなのがわかりましたら。

【長谷部部会長】

新6級ってなんですか。

【湯村使用者委員】

資料集の30ページに出ていましたね。でも、今要望段階なんですよ、業界からの。

【本田海事振興部長】

内航の団体から要望があるんですよ。

【清水公益委員】

内航総連が要望したというだけで、まだ。

【長谷部部会長】

よろしいですか。（「はい」の声あり）どうもありがとうございます。  
他にございますでしょうか。そうしたら、使用者側からお願いします。

【湯村使用者委員】

特にありません。

【佐藤使用者委員】

私達、旅客船事業者は、消費税の値上げというのを、いろんな事業者が値上げ改定ということでやっているが、まだそこまで行っていない事業者もあって、なかなか今まで政府で言ってきた賃金上げるんだよというのが、まだ実態として事業者に伝わっていないのが現状でございます。

私のところでも、今70歳という方がいますので、若い人を入れたいと思っても、なかなか来ないのが実情です。

【長谷部部会長】

状況はどうですか。

【佐藤使用者委員】

事業者でも、いろんな航路事情あるので、一律に内航とか漁船のようなわけにいかないんだよね。まだまだ、風評被害が続いているようですから。

【長谷部部会長】

大変ですね。よろしいですか。

【野田労働者委員】

関連するかちょっと分りませんが、気仙沼地区には、今大島汽船という会社があるんですが、気仙沼市と大島をつなぐ船ですが、そこでもやっぱり消費税の問題が出まして、運賃を値上げということで話が出ているんですが、それによって大島住民の方々が反対していて、運賃の値上げには、消費税アップということで、会社の側は転嫁するかまだはっきりはしていないんですけど、そんなことで大島汽船もなっているし、タチギワというんですかね、そういうことがあってですね、消費税、消費税と運賃上げるのは簡単なんですけど、そうすると使う人も少なくなるというんですかね。そういったことではっきりはしないんですけど、そういったことがあります。

【長谷部部会長】

行政側としては、消費税による一連の事業停滞のようなこういう予測はつけていらっしゃるんですか。

【本田海事振興部長】

予測ですか。これはないですね。

【長谷部部会長】

ない。

【佐藤使用者委員】

今、野田委員がおっしゃったように、大島汽船は生活航路ですから、住民の足として運航している船で、その他に完全に観光船の航路というのがあるんですが、観光船の方ではまた考え方が違うので、松島湾では100円一気に上げる状況です。

ただ、今お客さんの利用が旅行会社から来るよりも、むしろインターネットで検索して予約されるのが圧倒的に増えてきつつあるので、そういう人を割引制度なんかを利用しながら取り込むという方法が今報じられていますけど、大島汽船、だから私達の業界とすれば、燃料油が高どまりで推移していますから、なかなかやっぱり値上げしないと持ちこたえられないんですよ。

【長谷部部会長】

大変ですね。全体としては、なかなか見えにくいところがたくさんあるということでしょうか。

【佐藤使用者委員】

そうですね。一番難しい年ですね。

【長谷部部会長】

景気が一挙に冷え込むということも言われていますけど、わかりません。筋内委員、特に何かありますか。

【箭内公益委員】

いや、特にありません。

【長谷部部会長】

なかなか大変だということで終わろうと思いますが、よろしいでしょうか。

他に何かありませんか。ありませんでしたら、本日の議事はこれで終了にしたいと思います。

◎閉 会